



印刷時に有害な廃液が出ない
「水なし印刷」で印刷しています。



会社概要

(2020.2.29現在)

会社名	株式会社イズミ
本社所在地	広島県広島市東区二葉の里三丁目3番1号
資本金	196億1,385万円
設立	1961年10月27日
従業員数	正社員 2,878人 パートタイマー 6,438人(1日8時間換算)
店舗数	111店舗(エクセル単独店舗含む)
店舗地域	広島県、岡山県、山口県、島根県、福岡県、佐賀県、 大分県、長崎県、熊本県、兵庫県、香川県、徳島県 他
事業内容	ショッピングセンター、ゼネラル・マーチャンダイジング・ ストア(GMS)、スーパーマーケット等の業態による衣料品、 住居関連品、食料品等の販売およびインポート事業
グループ会社	(株)ゆめカード(クレジット・金融事業) (株)イズミテクノ(店舗施設管理) イズミ・フード・サービス(株)(外食) 他

みなさまと紡ぐ、新しい夢

イズミグループ

社会・環境報告書 2020

ENVIRONMENTAL SUSTAINABILITY REPORT

you
me

作成部署およびお問い合わせ先

株式会社イズミ 顧客サービス部

〒732-8555 広島県広島市東区二葉の里三丁目3番1号

TEL 082-264-3211(代) URL <https://www.izumi.co.jp/>

you
me

Contents

数字で見るイズミのESG	3	イズミ エコ・アクション2020	
トップメッセージ		ハードの工夫 環境配慮型の店づくりを実施	23
株式会社イズミ 代表取締役社長 山西 泰明	5	ソフトの工夫 地域全体で環境負荷を低減	25
イズミの4つの夢		サステナビリティ経営の実現	
お客さまに快適で心豊かな時間を	7	ルールを定めてCSRマネジメント	27
地域を活性化するインフラ拠点へ	11	IRコミュニケーションを強化	28
テナント様と一心同体で成長を	17	良質なコーポレートガバナンスを推進	29
社員がさらに活躍できる職場環境を	19	10年先も選ばれるイズミへ	30



社会・環境報告書の作成にあたって

●編集方針

イズミでは、CSR(企業の社会的責任)に関わる取り組みを多くの方々にご理解いただくために、社会・環境報告書を作成しています。報告項目の選定に当たっては、ステークホルダーのみなさまの関心事と、イズミが事業活動として重視している事項を考慮して取捨選択し、本書にまとめています。内容としては、CSR活動の中心である店舗・従業員の活動をメインに取り上げています。記事の作成に当たっては、読みやすさ、理解しやすさに配慮し、写真やグラフ、図などを積極的に取り入れています。

【最新情報について】イズミホームページにて、最新の取り組みや詳細な情報を紹介しています。併せてご覧ください。URL <https://www.izumi.co.jp/>

●報告書の発行

今回の発行
2020年5月(2019年3月1日~2020年2月29日の取り組み内容)
※一部、2019年3月以前、2020年3月以降の取り組みについても報告を行っています。

●報告書の発行予定

2021年5月(2020年3月1日~2021年2月28日の取り組み内容)

●報告書の対象

株式会社イズミの取り組みを基本として、グループ会社も一部含まれています。

●対象読者

お客さま、店舗の近隣住民のみなさま、行政、お取引先様、株主のみなさま、学生、NPO、NGO、投資家のみなさま、従業員など

私たちイズミは創業以来、 地域のみなさまと共に歩んできました。

これからも持続可能な社会の実現に向けて、SDGsの取り組みを進化させさらに一層、貢献していきます。



10年先も信頼され、選ばれる企業であるために——
貢献をしてまいります。

数字で見るイズミのESG

イズミグループでは、ESGに関わる多様な取り組みを実践しています。
この1年間で実践した活動の成果から、長年続けている全社的なプロジェクトまで
さまざまな指標をもとに、環境・社会・ガバナンスの現状をご紹介します。



「見える化」で食品ロス抑制

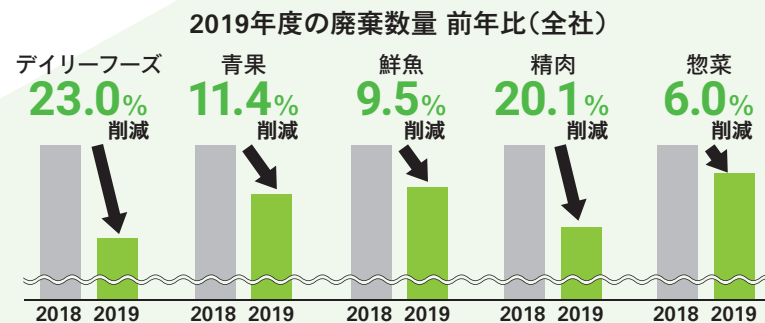
2019年4月から、食品事業部の生鮮3課とデパートで、食品廃棄量を毎日「見える化」しています。消費期限が迫った商品は「売切り平台」に集めることで、廃棄を防止。前年比で約14%も食品ロスを削減できました。食品の生産・製造・輸送にかかるエネルギーを節約できるため、今後も継続して取り組んでいきます。



食品廃棄量を毎日「見える化」(ゆめタウン佐賀)



節約志向のお客さまに喜ばれている「売切り平台」



3つの重点取り組み

- ◆廃棄量を掲示し、従業員の意識を高める。
- ◆見切り品を「売切り平台」に集め、廃棄を防止。
- ◆仕入れを工夫して在庫を削減、廃棄量を減らす。



女性管理職の登用を推進

イズミでは積極的に女性の登用を進め、女性管理職比率を20%以上にするという目標を掲げています。パートナー社員を主任に登用する仕組みを設けるほか、次期管理職候補者向けの女性リーダー育成研修を開催。積極的に女性管理職の登用を進めています。

役職名	1999年	2020年
女性管理職	9名	76名(11.1%)
女性バイヤー	14名	34名(39.5%)
女性主任比率	26%	46.4%(467名)

※女性主任はパートナー社員含む
※2020年4月現在



女性リーダー育成研修の様子



各地で包括連携協定を締結

従来からイズミでは、地域密着を大切に各地の行政との連携を進めてきました。創業の地である広島県とは、2011年にイズミ初の「包括連携協定」を締結。地元産品の積極的な販売や観光PRなど幅広い面で協力を約束しました。その後、熊本県や甘日市、山口県、周南市、宗像市に加え、広島大学とも包括連携協定を結び、社会貢献に努めています。



イズミとして初の包括協定を広島県と締結(2011年)

7
行政・大学
と提携



カラー印刷をモノクロ印刷に

カラー印刷はモノクロ印刷に比べ、インク使用量や電力消費量の面から環境負荷が大きいとされます。イズミ本社では2019年12月より、カラー印刷の制限を実施。業務上カラー印刷が必要な人を除き、全員のパソコンの設定を「モノクロ印刷のみ」に変更。仕事の効率を落とさず省エネを図りました。

1カ月分のコピー代



不要なカラー印刷を削減しました

約46%
の削減に
成功!



木から竹へ、割り箸を変更

店舗でお客さまに配布する割り箸の素材を、2020年2月より順次、木から竹へ変更しています。成長が早い竹は、芽が出て1~2年で伐採ができ、5年で成木に。木より短いサイクルで生産・伐採・製造ができ、環境への負荷が少ない素材です。

割り箸の素材変更効果(予測)

	年間数量	年間金額
木の割り箸	約2,380万本	2,810万円
竹の割り箸	約2,380万本	2,691万円

約119万円の削減を想定!

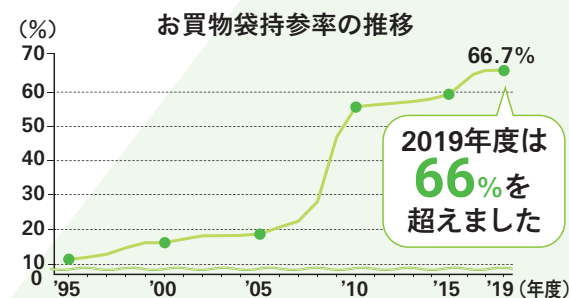


お買物袋持参運動が成果上げる

1997年からイズミでは、各地の行政や市民団体と協力してお買物袋持参運動を行い、地道にレジ袋の削減を呼び掛けてきました。年々、資源の有効活用に対するお客さまの理解が進み、現在ではお買物袋の持参率は65%を超えるほど増加しています。



お買物袋持参運動の告知ポスター(2006年度)



「公正なお取引勉強会」を実施

法令を遵守して、公正かつ適切なコンプライアンス経営を行うには、従業員一人ひとりの意識が大切です。独占禁止法や下請法などの研修会は、社内の重要な研修カリキュラムとして位置付け、テナント様との対等な立場でのお付き合いを進めるため、多くの従業員が受講しています。



勉強会の様子

年間
2回
実施

地球規模で考え、地域で“信頼の絆”を紡ぐ
「日本一の高質リージョナル総合スーパー」

世界各地で急速に感染が拡大する新型コロナウイルスにより、日本では金融市場が大きく動揺し、深刻な経済危機に直面しています。政府からの要請によるイベントの自粛や外出の自粛、臨時休校など、これまでにない生活不安に脅かされています。イズミの店舗でも2020年3月、お客さまならびに従業員の健康と安全を最優先に考え、大幅な営業時間短縮を実施しました。今後も店舗での消毒や、従業員による手洗い・うがいの励行、マスクの着用で、安全で安定した店舗運営に取り組んでまいります。

このような状況下で、「すべての人に健康と福祉を」「貧困をなくそう」「気候変動に具体的な対策を」といった17の目標掲げるSDGs(持続可能な開発目標)に改めて注目せざるを得ません。「持続可能な開発」とは、限りある地球環境や資源を生かして、豊かで快適な生活を実現すること。そして次の世代に住みやすい世界を残すことです。西日本に店舗を展開するイズミにおいても、地球規模で考え、そして地域で行動する必要があります。例えば「限りある資源を有効に活用するために、店舗の余剰在庫を減らし、廃棄を予防しよう」といった思考法をグループ内に広めていきます。

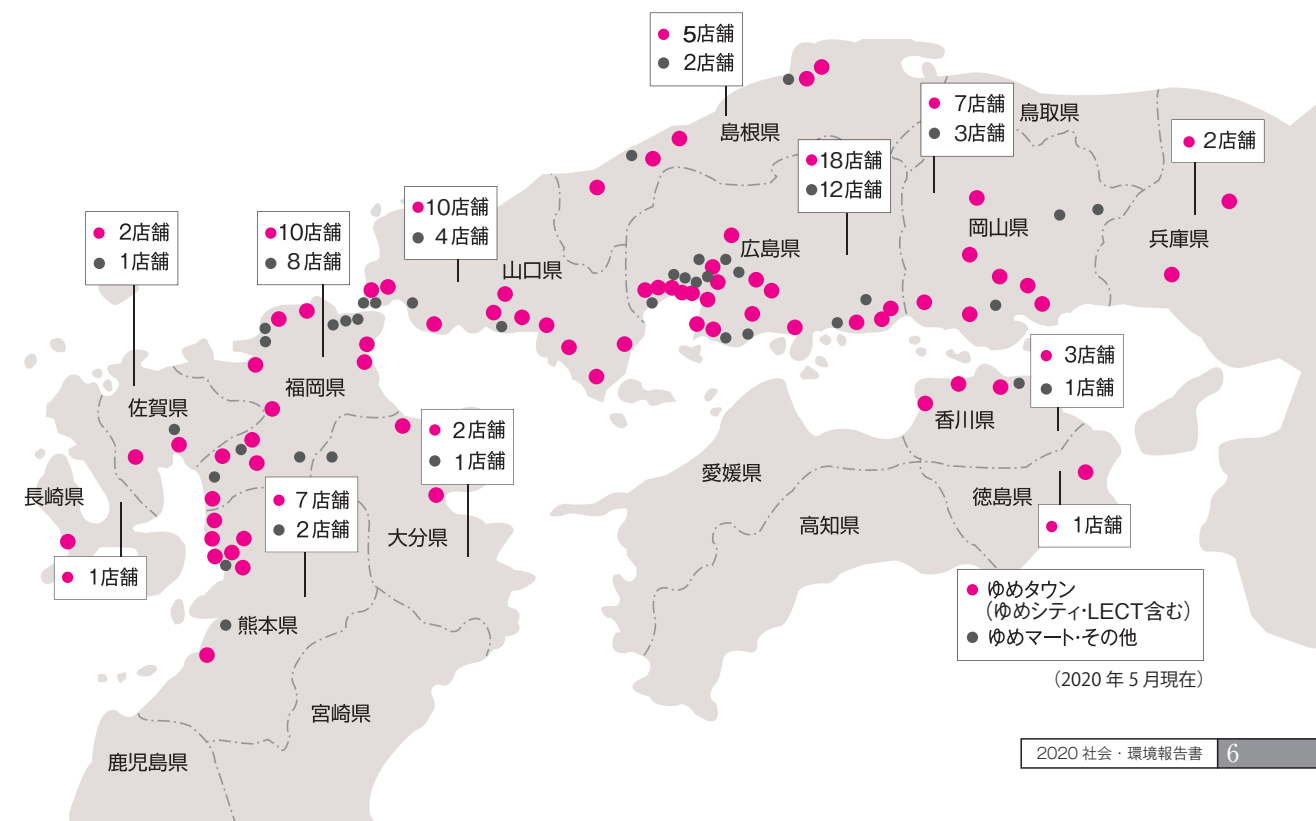
1990年に生まれた「ゆめタウン」業態は、2020年に誕生30周年の節目の年を迎えました。「地域を活性化するためのショッピングセンター」「人が集い、遊び、暮らす一つの街」というコンセプトは、まさにイズミの「4つの夢」そのもの。

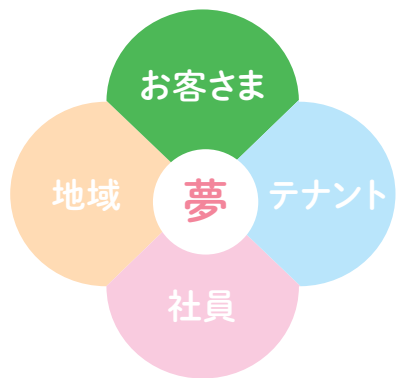
「お客さまに、より便利で快適な暮らしをお届けしたい」
「地域に雇用を創出し、活気を生み出したい」「テナント様やお取引先様に、さらなる発展をしていただきたい」
「社員に人間的成長とやりがい」という願いを実現するために、この30年間、歩んできたといっても過言ではありません。新店出店に加え店舗リニューアルの際には、リサイクルや省エネなどの環境保全活動、収益向上による株主のみなさまへの還元にも配慮。イズミにつながる全てのステークホルダーのみなさまの「夢」に貢献できる「ゆめタウン」へと発展させます。

急激な人口減少や高齢化、AI（人工知能）の拡大など、「令和」を迎え、社会構造はダイナミックに変化しています。「日本一の高質リージョナル総合スーパー」をめざすという経営ビジョンを実現するには、長年続けてきた商習慣を根本的に見直し、改革を断行するしかありません。ESG（環境・社会・企業統治）やSDGsの視点で、社員がやり甲斐を感じながら業務に励める風土をつくり、ニーズを先取りして顧客満足度を高めます。またコンプライアンス経営の確立にも取り組み、社会との「信頼の絆」を着実に紡いでいきます。

2021年、イズミは創業60周年を迎えます。時代は刻々と変化し、技術は日々進化していきますが、私たちはその波にのまれることなく、一歩ずつ前進し続けます。これからみなさまの期待と信頼に応えるべく革新を続ける私どもに、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

株式会社イズミ 代表取締役社長
山西 泰明





お客さまに 快適で心豊かな時間を

笑顔が生まれる店舗をめざします。



見て触れて食べて楽しい 「美・食・住 youme発見2019」

2019年10月24日、広島県立産業会館で第2回目の「美・食・住 youme発見2019」を開催しました。200社以上のメーカー様がブースを出店し、キッチンカーも7台登場。新商品や人気商品が一堂に介し、試食や試飲、サンプル配布などが行われ、お客さまには「いろいろな商品が試せてうれしい」という声をいただきました。お子さま向けの体験コーナーも人気を呼び、前年を上回る1万1千人が来場。メーカー様にとっては、消費者の生の声をヒアリングする「出合いの場」となりました。

イベントへの来場者数

1万1千人



フードやライフサポートなど7つのゾーンを設営

食品衛生を徹底 「岡山市知事賞」を受賞

イズミでは、全社を挙げて食の安全を重視しています。外部の準公的機関（一般財団法人日本食品検査）の指導を受けた食品品質チェッカーを全店に配属。毎日午前11時と午後3時に品質鮮度と産地表示を確認しています。また管理職向けの表示勉強会を定期的に開催。こうした取り組みにより「ゆめマート美作」が「食品衛生優良施設表彰 岡山市知事賞」を受賞するなど、行政からも高く評価されています。



真剣に学ぶ食品品質チェッカー



「ゆめマート美作」食品部門のみなさん



商品は裏側からも厳密にチェック

ハードとソフトで バリアフリー

2000年以降に開業したイズミの店舗は、全てバリアフリー新法の基準を満たしています。さらにリニューアルの際などに、ハード面を整備。また各店舗には「エスコート係」を配置し、お身体の不自由なお客さまのお買物を手助けしています。AEDの研修会なども行い、ソフト面のバリアフリーも推進中です。

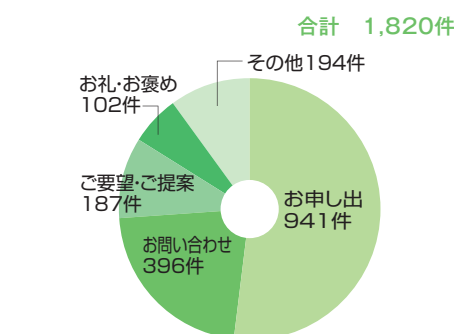


各店舗に配置された「エスコート係」

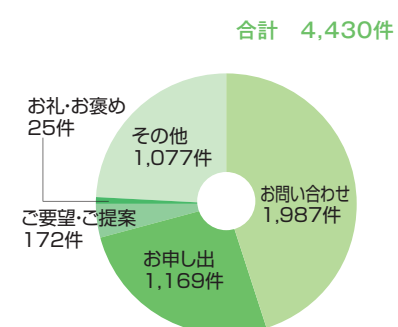
「お客さまの声」を店舗運営に反映

本社「お客さま相談室」へのフリーダイヤルや店頭「お客さまの声」用紙、ホームページ経由でのお申し出は、店舗運営に役立つ貴重なご意見です。イズミ本社では「お客さまの声をお聴きするプロジェクト」メンバーが声を集約し、スピーディーに商品・サービスに反映しています。

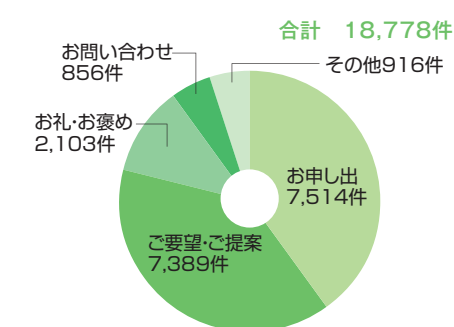
2019年度ホームページ年間実績



2019年度フリーダイヤル年間実績



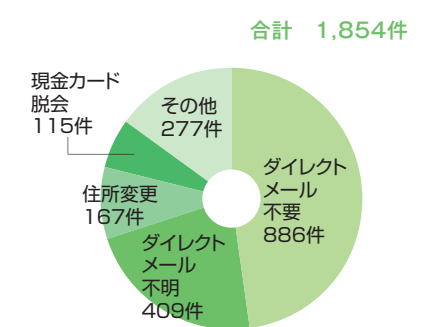
2019年度店舗での「お客さまの声」年間実績



個人情報 規則に沿って管理

店頭では、会員カードのご記入やギフトの発送、商品予約などで、ご住所やお名前、電話番号などの個人情報をお預かりすることが多々あります。イズミでは、お客さまに安心していただけるようプライバシーポリシーを制定。全社員が重要性を理解し、規則に沿った管理を実践しています。

2019年度個人情報 専用ダイヤル年間実績





お客さまに快適で心豊かな時間を

食育イベントでクイズやダンス

2019年8月23日、カゴメ様・広島県とのタイアップにより「ゆめタウン広島」で食育イベントを開催しました。健康のために推奨される野菜摂取量は、1日あたり350gですが、広島県では男女ともに約70gが不足。人気キャラクターによる野菜クイズやダンスを交えた楽しいイベントで、「もっと野菜を食べましょう」と呼び掛けました。



大勢の親子が集まりました

益田養護学校の作品を販売

2020年2月15日、「ゆめタウン益田」で毎年恒例の「ますようDE かつちゃん祭」が開催されました。売場には、益田養護学校高等部のみなさんが作業学習で作った野菜やお菓子、ジャム、漬物、陶器、木工品などがずらり。接客も生徒のみなさんが担当し、たくさんの方が買物の途中で足を止め、作品を購入されました。



多くのお客さまが集まりました

親子一緒に田植えや稲刈り

毎年開催されている「広島県豊栄産こしひかり産地交流会」。JA全農ひろしま様のご協力のもと、東広島市豊栄町の田んぼでお客さま親子が田植えや稲刈りを体験しています。2019年は、5月12日に田植えとイモの苗植えを実施。秋には稲刈りとイモ掘りを行い、楽しみながら自然と触れ合い、農業への関心を深めました。



親子で田植えを楽しみました

朝食づくりで小学生を表彰

小学生が夏休みに5日間、自分で朝ごはんをつくる企画「つくってみよう! 自分の朝ごはん」。広島県の「子ども未来づくり・ひろしま応援隊」の主催で毎年行われています。朝食を通じた親子のコミュニケーションを応援し、食育を進めようと、イズミも協賛企業に。2019年10月27日の表彰式にも参加し、賞状を授与しました。



20名の小学生が表彰されました

お子さま連れて快適に過ごせる空間へ

赤ちゃんや幼いお子さまと一緒に、快適に過ごしていただける空間をめざして、給湯器付きの「赤ちゃんの部屋」や、明るいデザインのキッズ用トイレ、お子さま用カートなど、さまざまな設備を整備しています。2019年にオープンした「ゆめタウン福山」の遊び場には、地元の港町「鵜の浦」をイメージした船形のすべり台が登場しました。



「ゆめタウン福山」に登場した船形のすべり台

クレジットカードのセキュリティ認証

(株)ゆめカードでは、クレジットカード「ゆめカード」の安全性向上に取り組んでいます。情報流出などのリスクを低減し、カード会員様のデータを守るために有効とされるPCI DSS審査を毎年受け、認証を取得。2019年にも約400のチェック項目をクリアし、高い水準で安全対策を実施していることが認められました。



(株)ゆめカードのPCI DSS事務局メンバー

ESGデータ

「ゆめタウン高松」活性化

2019年9月5日、「ゆめタウン高松」がリニューアルオープンしました。よりゆとりある時間が過ごせるよう、フードコートを拡大。席数は570席から940席へ増やし、利用シーンに合わせて食事が楽しめるようになりました。



瀬戸内海の島々を海を巡るように、飲食店を回遊できる

940席の
フードコート

創業58周年記念で川柳を募集

2019年にイズミは創業58周年を迎えました。記念企画として、お客さまにゆめタウン・ゆめマートにまつわる川柳を募集。楽しかったことや懐かしい思い出など、多数の力作が寄せられました。感謝を込めて、作品の一部を創業記念日の11月3日に、新聞各紙に掲載しました。



2019年11月3日に掲載した新聞広告

増税後の家計を応援 350品目を値下げ

消費税率が引き上げられた2019年10月1日より、イズミは350品目を従来価格から最大3割値下げしました。対象商品は、調味料や飲料、酒、生鮮食品など、毎日の生活に必要な食料品や日用雑貨。節約しながらお買物を楽しんでいただけるよう、お得な企画を打ち出し、増税後の家計を応援しました。



取り組みを告知するチラシ

利便性の向上へ新たなサービスを開始

より便利で快適な店づくりに向け、タブレット付きショッピングカート「ゆめピ!」の導入を進めています。画面に売場マップやレシピ、クーポンなどを表示。楽しみながらお買物ができます。キャッシュレス推進に向けては、電子マネー「ゆめか」に対応した飲料自動販売機を開発。また、2019年8月29日からはスマートフォン決済サービスPayPayが利用可能になりました。10店舗では、買物のついでに荷物を持ち帰れる宅配ロッカーを設置。多様化するライフスタイルへの対応を進めています。



タブレット付きショッピングカート「ゆめピ!」



電子マネー「ゆめか」対応の飲料自動販売機

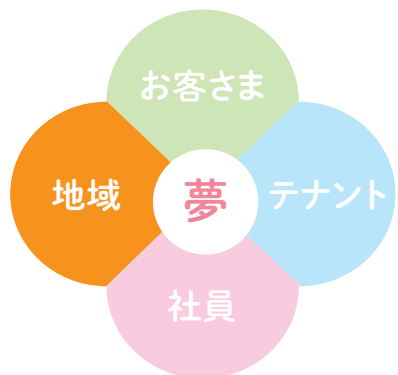


スマホ決済サービス PayPay



店頭の宅配ロッカー

お客さま



地域を活性化する インフラ拠点へ

コミュニティに貢献していきます。

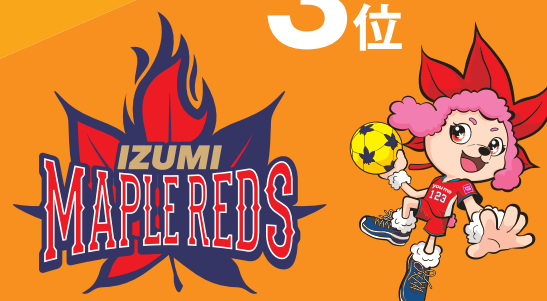


「イズミメイプルレッズ」 仕事と競技を両立

女子ハンドボールチーム「広島メイプルレッズ」は、2019年4月に実業団チームとなり、「イズミメイプルレッズ」として生まれ変わりました。日本ハンドボールリーグで8回優勝した強豪チームは、2019-20シーズンに3位入賞。2019年11月30日～12月15日に開催された女子ハンドボール世界選手権では、2名が日本代表に選出され、メンバーの今後の活躍が期待されます。仕事と両立しながら、競技に全力で向き合う選手たちは「従業員の鏡」。イズミグループ全員が熱く応援しています。

日本リーグ2019-20戦績

3位



新しいロゴマークとキャラクター「メイリー」

カープ応援 スポンサーゲーム開催

広島東洋カープのオフィシャルスポンサーとして、2009年からスコアボード横に「youme」のロゴを掲げるイズミ。毎年初夏には「ゆめタウンスポンサーゲーム」を開催しています。9回目の開催となった2019年5月5日は、人気カードのジャイアンツ戦。スタンドを埋め尽くす観客のみならずと一緒盛り上がりしました。



抽選で当選されたお客さまがCCダンスを披露



大型スクリーンで「ゆめタウン」のCMを放送

サンフレッチェ広島の「ピースマッチ」支援

2019年8月3日、エディオンスタジアム広島で4回目の「ゆめタウンスポンサーゲーム」を開催しました。平和を願う「ピースマッチ」にチームは見事1-0で勝利。スタジアムは大歓声に包まれました。また2020年1月9日には、新ユニフォームのお披露目会を「LECT」で開催。選手たちは開幕に向けて意気込みをアピールしました。



試合前の記念撮影

劇団四季「こころの劇場」に協賛

劇団四季と一般財団法人舞台芸術センターの社会貢献活動「こころの劇場」。イズミは子どもたちに演劇の感動を届ける取り組みに賛同し、協賛しました。2019年10月から2020年2月まで、広島県、山口県、福岡県、熊本県、香川県の17都市で開催された43公演に、798校60,695名の児童を招待しました。



2019年のミュージカル「カモメに飛ぶことを教えた猫」 撮影:上原タカシ

福岡 ヤフオク! ドームに「youme」のロゴ

イズミにとって福岡県は、数多くの「ゆめタウン」「ゆめマート」を展開する「第2の故郷」。福岡ソフトバンクホークスを応援し、地域を盛り上げています。2019年5月16日には、福岡 ヤフオク! ドームでスポンサーゲームを開催。新しく設置された世界最大級の大型ビジョンに「youme」のロゴがずらりと並びました。埼玉西武ライオンズとの対戦には、5-1で快勝。3万8千人のお客さまがチームに喝采を送りました。



迫力満点の大型ビジョンに「youme」のロゴが並び

泉美術館の企画展 来場1万人突破

泉美術館は、洋画、日本画、彫刻などを肩の力を抜いて鑑賞できる空間です。2019年7月11日～9月29日には、広島東洋カープの歩みを紹介する企画展「見る・知る・楽しむ カープ物語」を開催。草創期からの球団史を振り返る年表パネルや報道写真が評判を呼びました。9月26日には来場1万人を突破。1万人目のお客さまには記念品を贈呈しました。



山西社長(左)が記念セレモニーでカープグッズなどを贈呈



地域を活性化するインフラ拠点へ

地元が誇る特産品を他の出店エリアへ

イズミでは各店舗で、地域に対応した品ぞろえを進めています。地産地消を意識した産直野菜コーナーは、鮮度のよさが人気。生産者の顔写真を飾り、消費者に親近感を持ってもらえるよう工夫しています。また地元で愛され、育てられた特産品を、他の地域に紹介する「味じまん」を企画。販路拡大にも貢献しています。



広島県の味を他県で紹介

投票率アップへ店舗に期日前投票所

投票率の向上に貢献するため、「ゆめタウン」に期日前投票所を開設するケースが増えています。「ゆめタウン廿日市」では2019年3～4月に広島県議会議員一般選挙の際、「ゆめタウン久留米」「ゆめタウン南岩国」では7月の参議院選挙の際に、期日前投票所を設置。「お買物帰りに投票ができて便利」とお客さまに好評でした。



「ゆめタウン廿日市」の店内に案内板を設置

サービスカウンターで公共料金のお支払い

電気やガス、電話などの料金、国民年金保険料などのお支払いを、各店舗のサービスカウンターで受け付けています。JAFやNHK、通信販売の代金にも対応。夜間・休日も営業時間内であれば手続きができるため、「金融機関にわざわざ行かなくて済む」「仕事帰りに、買い物のついでに支払えて便利」とお客さまに喜ばれています。



サービスカウンターに案内板を設置

「阿蘇コシヒカリ」生産者と交流

2019年5月22日、イズミの加工食品主任約20人が「阿蘇産こしひかり田植体験・交流研修会」に参加しました。会場は、九州の「ゆめタウン」「ゆめマート」で取り扱っている「阿蘇産こしひかり」を栽培する水田。主任たちは「生産者のみなさんが丹精込めて育てたお米をお客さまに紹介したい」と思いを述べました。



雄大な阿蘇山をバックに、交流会を開催

県知事が来場し「島根フェア」初開催

2019年11月2日、「ゆめタウン広島」で「島根フェア」を初開催しました。島根県の丸山達也知事や観光キャラクターの「しまねっこ」も参加し、にぎやかに島根県産品をアピール。会場になった1階の「ゆめ広場」には、野菜や果物、ワイン、みそ、和菓子など50種類以上の商品が並び、多くのお客さまが来店されました。



果物の試食販売コーナー



丸山県知事が島根県産品を紹介（左から3番目）

ゆめマート柳川に感謝状

2020年1月17日、柳川警察署からゆめマート柳川が表彰され、2年連続で感謝状をいただきました。同店では防犯情報のチラシ掲載、店舗駐車場でイベント開催などを実施。地域社会の安全を守る、地道な活動が評価されました。



大神副署長（右）と店長の小松原浩之

2年
連続の感謝状

「ゆめタウン益田」で水防災講座

2020年1月30日、「ゆめタウン益田」で国土交通省様主催の水防災講座が開催され、店長や管理職、主任などが多数参加しました。店舗近隣を大型河川・高津川が流れていることから、想定される水害リスクや、浸水被害が発生した際の対策などを学習。地域のライフラインを守るため、災害への備えを進めています。



さまざまな部門の従業員が水害リスクを学習

地域行政と経済発展や防災で連携

イズミでは、出店エリアの県や市町などとの連携を重視。産業振興や市民サービスの向上、高齢者支援など、地域が直面しているさまざまな課題を協力して解決していくため、6行政と地域活性化包括連携協定を締結しています。広島大学とも産学連携を進めるため、協定を結んでいます。

地震や台風、豪雨災害など、万が一の災害に備えた協定も、各地の県や市町と締結。「平成30年7月豪雨」に際しては、協定が機能しスムーズに物資供給ができました。2019年11月22日には出雲市と災害協定を締結。災害発生時には、店舗や駐車場を避難場所として提供することや、食料や飲料水、毛布などを供給することを取り決めました。



香川県三豊市での協定式の様子



出雲市の長岡秀人市長（右）と「ゆめタウン出雲」支配人の井上宏春

行政との協定一覧

包括協定	
県名	締結日
広島県	2011年9月6日
熊本県	2011年12月20日
廿日市市(広島県)	2015年6月6日
山口県	2016年9月1日
周南市(山口県)	2016年9月30日
広島大学(広島県)	2017年4月19日
宗像市(福岡県)	2017年10月26日

災害時における物資協定	
市・町・施設名	締結日
遠賀町(福岡県)	2011年12月1日
行橋市(福岡県)避難施設含む	2012年2月1日
広島市(広島県)	2012年2月22日
井原市(岡山県)	2012年5月8日
八女市(福岡県)	2013年2月1日
佐賀市(佐賀県)	2013年3月21日
うきは市(福岡県)	2013年4月1日
大竹市(広島県)	2013年9月25日
八代市(熊本県)	2013年8月5日
周南市(山口県)避難施設含む	2014年3月14日
公立玉名中央病院(熊本県)	2014年6月1日
廿日市市(広島県)	2015年6月6日
山口県警察本部(山口県)	2016年10月1日
三豊市(香川県)	2018年3月23日
赤磐市(岡山県)	2018年9月1日
下松市(山口県)	2018年10月5日
出雲市(島根県)	2019年11月22日
柳井市(山口県)	2020年1月1日

避難施設の協定	
市・町名	締結日
中津市(大分県)	2011年8月25日
藍住町(徳島県)	2011年11月21日
呉市(広島県)	2012年2月20日
別府市(大分県)	2012年4月27日
大竹市(広島県)	2012年11月27日
福山市(広島県)ゆめタウン松永	2013年7月12日
廿日市市(広島県)	2015年6月6日
広島市(広島県)LECT	2017年6月7日
下松市(山口県)	2018年10月5日
福山市(広島県)	2019年6月28日
出雲市(島根県)	2019年11月22日



地域を活性化するインフラ拠点へ

新入社員がパレード フラワーフェスティバル

2019年5月5日、イズミグループ新入社員が「2019ひろしまフラワーフェスティバル」の「きんさいYOSAKOI」パレードに参加しました。中四国・九州の各店舗に配属された238人が、2回の全体練習を実施。当日はそろいの衣装とメイクでイズミらしさを表現し、息が合った力強い踊りを、沿道に詰めかけた約56万人の観客に披露しました。



イズミOBとご家族も三世代でパレード



元気いっぱいの新入社員

大学生とコラボ 秋色の弁当を販売

2019年11月1日、管理栄養士をめざす大学生と共同開発した2つの弁当を発売しました。中四国地方では、疲労回復をテーマにした「秋の味覚のカラダ健やか御膳」。安田女子大学のみなさんと初めてコラボしました。九州では、野菜不足解消に役立つ「秋の味覚満載 カラダ想い御膳」。福岡女子大学のみなさんとは4度目の共同企画で、見た目も華やかな弁当ができました。2019年3・4月にも、広島国際大学、福岡女子大学とのコラボ弁当を発売しました。



2019年春の
広島国際大学との
コラボ弁当



2019年秋の
安田女子大学との
初コラボ弁当



2019年秋の福岡女子大学とのコラボ弁当ポスター

「ゆめタウン浜田」で 盲導犬育成募金活動

「ゆめタウン浜田」で、2020年2月15日に盲導犬育成募金活動が行われました。日本盲導犬協会 島根あさひ訓練センターのみなさまが、おだやかで賢い盲導犬とのふれあいコーナーを開設。地域のみなさまとの交流の機会となりました。この他にも、イズミグループの店舗では各種募金活動に協力しています。



盲導犬とのふれあいコーナー

「令和元年台風19号」 義援金を寄託

2019年10月12日に日本に上陸した「令和元年台風19号」は、関東や甲信、東北地方に記録的な大雨をもたらしました。河川の氾濫などにより深刻な被害が出たことから、イズミグループでは10月15～31日に全店で義援金の募金活動を実施。お客さま・従業員から寄せられた3,486,710円を日本赤十字社に寄託しました。

ESG データ

マルヨシセンターと資本業務提携

2019年11月12日、香川県や徳島県を中心にスーパーを展開する(株)マルヨシセンターと、イズミは資本業務提携を締結しました。この提携により、四国でのイズミグループの店舗網が拡大。さらに地域性に合わせた店づくりを進めます。



締結の様子

46店舗
を四国に展開
(イズミグループ合計)

学生アルバイト向け 「イズミアカデミー」

2019年11月に、学生アルバイト向けインターンシップ「イズミアカデミー」が「開校」しました。業務に関連した内容に、就職活動に役立つ学びを取り入れた講座を、年3回程度開催する予定です。1回目の講座では、小売業の基本となる客数と客単価について「主任業務体験」で学習。商品のプロモーションにも挑戦しました。



商品を試食しPR方法を検討

会社説明会が Webで視聴可能に

就職活動中のみなさまに、イズミをより深く知っていただくための「会社説明会」。従来は会場を借りて開催していましたが、2020年2月から一部を「Web説明会」に移行しました。24時間いつでもどこにいても視聴できる点が好評です。

4月からは新型コロナウイルスの感染拡大を受け、「Web説明会」に加え、「Web面接」を導入。感染リスク削減への取り組みを強化しながら採用活動を実施しています。



ネットでいつでも見られる「Web説明会」

惣菜の新工場建設で 顧客ニーズに対応

女性の社会進出や高齢者・単身者世帯の増加などにより、惣菜の需要が高まっています。さらに顧客のニーズに応えるため、グループ会社の(株)ゆめデリカが、広島市に衛生管理を強化した惣菜専用の新工場を建設中です。完成は、2020年9月の予定。グループ全体で力を合わせ、お客さまに喜ばれる品ぞろえを実現していきます。



機能的な製造ラインを備えた新工場(イメージ)

手土産も生鮮品も充実 ユアーズの「駅ナカ」店

1日の乗降客数が15万人を超えるJR広島駅。グループ会社の(株)ユアーズが「駅ナカ」店2店舗を展開しています。お土産売場に隣接した「アバンセekie広島駅店」では、瀬戸内エリアの高品質食品が手土産に人気。地元のお客さまが多数利用される「ユアーズekie広島店」は、日常の食卓を支える生鮮品や惣菜が充実しています。



「ユアーズekie広島店」青果売場

新型コロナウイルス 感染拡大防止へ

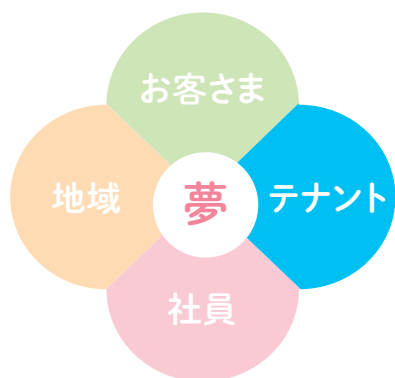
2020年3月、イズミでは地域のお客さまと従業員の健康と安全を最優先に考え、新型コロナウイルスの感染拡大防止へ対策を行いました。「ゆめタウン」「LECT」のテナント様の営業時間を短縮。2020年3月4日から15日までは11時から20時までの営業としました。店頭には消毒用アルコールを設置し、従業員はマスク着用で業務に当たりました。



お子さまの遊び場を除菌



お客さまが直接手でふれるサッポロ台を
消毒用アルコールで除菌



テナント様と 一心同体で成長を

交流を深め、一層の飛躍をめざします。



「第6回ゆめ^{ワン}1グランプリ」 ロールプレイング全社大会開催

2019年10月10日、テナント従業員さまを対象にしたロールプレイングの全社大会「第6回ゆめ1グランプリ」が実施されました。九州、西部、東部の各地区予選で選ばれた12名がイズミ本社に集合。日頃の成果を発揮して、商品提案やサービス提供など、心を込めて接客実技を披露しました。参加者のみなさんからは、他店・他業種の接客を学ぶと同時に、自分の強みや弱みに気付く機会としても好評です。この他にも「新年度スタートテナント選手権」「GW&母の日テナント選手権」など、各種大会が開催されています。

テナント従業員の予選出場者

1,564名



「新年度スタートテナント選手権」入賞者の皆さん

顧客満足度向上へ 「イズミ会」総会

1975年に発足した「イズミ会」は、お取引先様とイズミの絆を深め、共存共栄をめざす会です。2019年5月現在で、407社が加盟しています。

2019年5月10日には総会を開催し、イズミから経営方針や出店計画などを報告。お取引先様とのコミュニケーションを図りました。お客さま満足度の向上に向けて、よりよい商品・サービスを提供しようというを一つにしました。



イズミの出店計画などを報告

ご意見をいただき 公正な取引を推進

お取引先様にご意見をいただき、公正な取引を推進するため、イズミ本社に用紙と投書箱を設置しました。商談やお取引に関することはもちろん、従業員のマナーや店舗運営など、どんな内容でも率直に遠慮なくお申し出いただけます。また、意見を提出したことで本人様や企業様に不利がないよう、イズミグループ内で従業員教育を徹底しています。



お取引先様用の投書箱

多様な学びの場「テナント店長研修会」

イズミではテナント様とともに成長していくため、多様な学びの場を提供しています。2019年3月22日には「テナント店長研修会」を開催。2つのテーマについて、講義やグループディスカッションを通して学びました。

【繁盛店の秘訣を学ぶ】

お客さまの購買心理を表す「AIDMAの法則」に基づいた売場づくりのコツや、視覚や聴覚、嗅覚、味覚、触覚の五感を意識した商品訴求方法などを紹介。売場導線やレイアウトの見直し、陳列方法などのアイデアも学びました。

【法令遵守に向けて】

店頭掲示用のPOPを作る際、景品表示法に違反しないよう、事例紹介を行いました。例えば「優良誤認表示」。品質や規格などが実際よりも著しくよいものだ、消費者に誤認させないよう、注意を呼び掛けました。



熱心に受講するテナント店長のみなさん

ラジオ局と共同で チャリティー募金

視覚障がい者のみなさまを支援する恒例行事「チャリティー・ミュージックソン」。中国放送(RCC)と九州朝日放送(KBC)、西日本放送(RNC)と共同で、2019年12月24・25日に広島県、福岡県、香川県の「ゆめタウン」で開催しました。店舗ではゲストを迎えて、ラジオの公開録音を実施。善意がこもった募金は、音が出る信号機の設置などに役立てられています。



ゲストを迎えて公開録音も実施

より働きやすい 職場づくりを支援

テナントのみなさまの採用活動を支援するため、イズミでは店頭で「お仕事相談会」を開催しています。2019年3～7月の実績で、388名が面接を受け46名を採用しました。

また、専門店の閉店時間を22時から21時に変更(一部店舗を除く)しています。「早く帰れるようになった」「余暇に費やす時間が増えた」とテナント従業員さまに好評です。



店頭での「お仕事相談会」



社員がさらに活躍できる職場環境を

ウェブで申し込める ビジネススクール

イズミでは、生産性を高めるには学びが欠かせないと考え、従業員向けに「イズミビジネススクール」を開設。仕事に直結するリーダーシップやマーケティング、コーチングなどの講座が好評です。目的に合わせて効率的に受講できるよう、ウェブで申し込みや受講歴の確認ができます。2019年度は30講座を900名が受講しました。



イズミ本社でのグループワーク風景

動画マニュアル 「STeP」導入

自己啓発に役立つ動画マニュアル「STeP」が2019年に導入されました。「STeP」を使えば、売場づくりや接客マナーがパソコンやスマートフォンでいつでも学べます。食品部門では、魚のおろし方や肉をスライスする方法などを、字幕と音声付きの動画で分かりやすく解説。基本の復習にも活用されています。



丁寧な解説が付いた動画マニュアル

「山西塾」を開催 次世代の経営幹部育成

広島市南区の「イズミグループ研修センター」で、次世代の経営幹部（部長・支配人）を計画的に育成するため、「山西塾」を開催しています。2019年度は2回実施。前期にはイズミのDNAを学び、マネジメント理論を体系的に身に付けるための講座に16名が参加。後期には22名が集まり、グループ討議や実習でイズミの未来像を考えました。



幹部候補の課長・店長が出席しました

コンテストや「ゆめ感動物語」開催

従業員の意欲と技術を高めるため、各種コンテストを開催しています。2019年に行われた「生鮮技能コンテスト全社大会」では、予選会に過去最大の177名が参加。イズミグループが一体となり切磋琢磨しました。また、パートナー社員自らが気づき、現場を改革した事例を発表する「ゆめ感動物語」の成果は、店舗運営に反映されています。



「ゆめ感動物語」参加者の皆さん



グループ会社の代表者も参加した「生鮮技能コンテスト全社大会」

再雇用制度で ベテランが活躍

「高齢者雇用安定法」に沿って、イズミでは「定年再雇用制度」を導入しています。本人が希望する場合、満60歳に達した正社員・パートナー社員は、定年後も65歳まで再雇用されます。パートナー社員の時給据え置き制度や、評価に応じた昇給制度などの仕組みを整備しています。

- 1 本人が希望すれば、誰でも安心して65歳まで勤務することができます。
- 2 定年前までのみなさんの頑張りを活かすため、パートナー社員の時給は据え置きます。
- 3 定年後も評価に応じた昇給を行うので、意欲が高く保たれます！（正社員・パートナー社員共通）

ESG データ

自動発注システムを導入開始

2019年、発注作業の大幅な効率化に向けて「需要予測型自動発注システム」を3店舗に先行導入しました。需要予測に基づく発注は精度が高く、品切れ防止にも効果的です。全店への展開に向け、順次、導入店舗を増やしています。



「ゆめタウン大竹」での発注の様子

2022
年度末まで
全店に拡大
(加工食品・住関連)

ヨークベニマル研修 店舗改革に反映

2019年3～5月、東北の食品スーパー・ヨークベニマル様で、2名のイズミ従業員が社外留学を経験。お客さま目線で企画された催事や、商品の陳列ルール、笑顔のフレンドリーサービスなど多くの収穫がありました。2名は現在、「ゆめマート八幡」をモデル店舗に、学びを生かした店舗改革に取り組んでいます。



研修先の「ヨークベニマル金屋店」(福島県)で記念撮影

先進の小売店を視察 アメリカ研修

2019年6月、アメリカ研修に管理職44名が参加しました。大手スーパーマーケットを巡り、商品をネットで注文して店頭で受け取る「BOPIS」や、需要予測型自動発注システムなど、小売業界のトレンドを視察。売場の配置など参考になることが多く、参加者は帰国後、お客さまに喜ばれる店づくりを積極的に進めています。



トレーダージョーズを訪問

トヨタ式カイゼンで 業務を効率化

2011年度に導入したトヨタ式カイゼンをベースに、業務の効率化を進めています。2019年度の重点課題は「5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の基本徹底」。2019年11月22日に開催された「カイゼン活動報告会」では、「ゆめタウン久留米」の「毎月1回、課ごとにカイゼン報告会を実施し、整理整頓がレベルアップした」という事例を共有しました。



「ゆめタウン久留米」の取り組み

「ふるさと帰省旅費 補助制度」を導入

2019年に、若手社員が親元に帰省する際の旅費を補助する「ふるさと帰省旅費補助制度」を導入しました。対象は、25歳以下のレギュラー正社員（勤務地は出店エリア全域）で、往復の旅費のうち、1万円を超える部分を最大10万円まで補助。遠方へ異動しても、費用を心配せず親元へ帰省できるよう、支援しています。



福利厚生の実践で働きやすい環境を整備

ベトナム人研修生 デイリーマートに入社

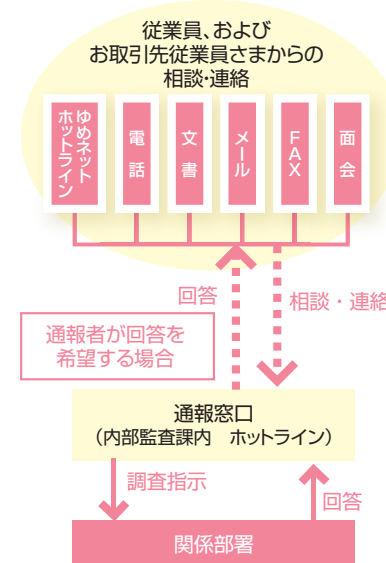
2019年5月21日、グループ会社の（株）デイリーマートにベトナム人実習生9名が入社。入社式では覚えたいばかりの日本語で自己紹介し、「日本語も仕事も早く覚えたい」という決意を表明しました。翌日から、慣れない環境での業務がスタート。5年間の予定で働く実習生を従業員一同がサポートし、チームワークよく働いています。



民族衣装のアオザイで入社式に出席

ホットラインで 相談に応じる

従業員やお取引先従業員さま向けの相談窓口として、社内に「イズミホットライン」を設置しています。



イズミ エコ・アクション 2020

地球温暖化を防ぎ、未来の子どもたちに美しい自然を残すために
イズミグループは環境保全活動を重要テーマとして取り組んでいます。
お客さまや地域のみなさまにご理解・ご協力をいただきながら
環境負荷を最小限に抑えた店づくりを進めていきます。

ハードの工夫 環境配慮型の店づくりを実施

店舗屋上で太陽光発電

2015年にオープンした「ゆめタウン廿日市」では、イズミ初の試みとして店舗屋上で太陽光発電を実施しています。小型のスーパーマーケット1店舗分に相当する電気を発電できるよう、350kW発電パネルを約2,900㎡の規模で設置。二酸化炭素の排出量削減を進めるため、再生可能エネルギーの有効活用に努めます。



太陽光パネルを店舗の屋上駐車場の一部に設置



イズミ本社の社員向けパネルで発電量を表示

「ゆめタウン廿日市」では店頭パネルを設置

発電量をパネルで「見える化」



「ゆめタウン廿日市」のエコステーションでは、お客さまに向けて太陽光発電の発電状況やリサイクル情報をパネルに表示しています。イズミ本社では従業員への環境教育の一環として、消費電力量などをリアルタイムで表示。「見える化(可視化)」により環境保全への関心を高め、省エネを推進していきます。

輸送車台数削減で省エネ



小売業に欠かせない商品の運輸部門でも、イズミは省エネルギーに取り組んでいます。その中心になるのが2015年に開設した「イズミ広島物流センター」(広島市西区)。4つの配送センターを統合し、ドライ商品とチルド商品を同じ車両で配送することで、輸送車台数削減に取り組んでいます。また、段ボール使用量の削減に向けては、プラスチック製の折りたたみコンテナを繰り返し活用しています。



運輸効率を高める拠点「イズミ広島物流センター」

既存店の空調設備を更新



既存店では従来型の重油式空調設備から、二酸化炭素排出量を約半分に削減できる電気式空調設備への更新を推進。今後もリニューアルなどの際に電気式空調設備の導入を進め、環境負荷低減に努めていきます。



既存店で導入されていた重油式空調設備



二酸化炭素排出量を抑制できる電気式空調設備

冷蔵・冷凍ケースを最適運転



冷蔵ショーケース・冷凍ショーケースは、食品のおいしさと品質を守るために欠かせません。全ての店舗で「インバーターエコシステム」を採用し、一元管理を実施。適切な庫内温度を保ちつつ、常に最適運転を行って、消費エネルギーを抑制しています。



省エネ型の冷凍ショーケース

電気自動車の充電スポット



15店舗に設置

二酸化炭素排出量削減に向けて、利用者が増えている電気自動車。イズミでは、充電スポットの整備を進めています。現在「ゆめタウン光の森」「ゆめタウン博多」「ゆめタウン高松」「ゆめタウン廿日市」「ゆめタウン広島」「LECT」など15店舗に導入。今後も設置店舗を増やしていきます。



「ゆめタウン廿日市」では屋内駐車場に設置

有機EL照明を試験導入



イズミの店舗では、LED照明を全面的に採用。時間帯ごとに店内照度を自動制御するスケジュール調光システムを組み合わせ、消費エネルギー削減に取り組んでいます。また、有機EL照明を「ゆめタウン廿日市」で試験導入。さらに効果的な次世代の省エネ対策を検討しています。



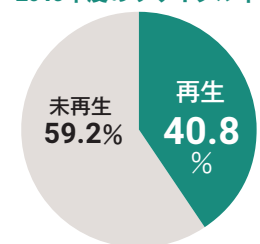
「ゆめタウン廿日市」の授乳室に有機EL照明を設置

食品廃棄物をリサイクル



店舗の食品部門では、魚のあらや野菜くず、廃油などの食品廃棄物を分別管理。それぞれを資源として有効活用し、2019年度は40.8%(2,902t)をリサイクルしました。廃油以外の食品廃棄物は、専門業者で肥料に再生。廃油は大半が飼料に生まれ変わり、一部は福岡県の株式会社フチガミ様でバイオディーゼル燃料に再生されています。

2019年度のリサイクル率



(株)フチガミ様に廃油再生を委託

本社屋上を緑化 熱負荷軽減



イズミ本社ビルの屋上では、太陽光発電を行うとともに、緑化による建物の熱負荷軽減も行っています。さらにビル中央部の吹き抜けは、開放的な空間を演出すると同時に、自然換気で空調を削減。環境負荷低減に向け、随所に工夫が施されています。



緑化により、憩いの空間としても使われている屋上

ソフトの工夫 地域全体で環境負荷を低減

リサイクル拠点を店頭で

「お買物ついでに、リサイクル活動に参加できてうれしい」と好評なのが、全店の店頭で設置した回収ボックスです。牛乳パックや食品トレー、ペットボトル、アルミ缶などをご持参いただき、地域のリサイクル拠点として親しまれています。おかげさまで回収量は年々増加しています。



回収ボックスの上には「リサイクルの流れ」を掲示



駐車場の一角に設置された「エコ・ステ」

紙類を回収「エコ・ステ」

ご持参いただいた新聞や雑誌などの紙類の重量に応じて、ポイントを上乗せする古紙回収ステーション「エコ・ステ」。2010年に導入を開始して以来、ポイントをお買物にご利用いただける点が好評で、現在71店舗（2020年5月現在）に広がっています。

※「エコ・ステ」とは、「エコ・ステーション」の略です



71店舗
に設置

衣料品回収でクーポン券

不要になった衣料品を最大10点までお引き取りするキャンペーンを、「ゆめタウン」で毎年数回開催しています。ジャケットやパンツ、バッグなどお引き取りした衣料は、リユースやリサイクルなどで有効活用。お客さまには感謝を込めて、500円分のクーポン券を3枚進呈しています。



店頭で専用カウンターを設置



「クールシェア」で節電

ご家庭のクーラーを消して公共施設などで過ごし、地域全体で節電を進めるのが「クールシェア」。イズミでは2012年に広島県の店舗で導入し、2018年から全店に取り組みを拡大。2019年は7月13日から9月23日まで割引クーポンを発行し、利用促進に努めています。



割引クーポンで「クールシェア」



衣類の工夫でエコ推進

夏季にジャケットやネクタイをはずし、冷房時の室温は28度を目安にする取り組みが「クールビズ」です。「ゆめタウン」の店頭では初夏から「クールビズ」コーナーを設置。社員も軽装で勤務し、省エネに努めています。冬には暖房時の室温を20度を目安にする「ウォームビズ」を推進し、温かい肌着などを紹介しています。



「クールビズ」売場でエコファッションを提案



7割以上がエコ包装に

ギフト売場では、のし紙や包装紙などを省略したエコ（簡易）包装へのご協力を呼び掛けています。地域のみなさまの理解が進み、2019年度は夏のギフト75.4%、冬のギフト77.1%がエコ包装になりました。お中元やお歳暮だけでなく、母の日や父の日、敬老の日などのギフトでも、包装紙の削減にご協力いただいています。

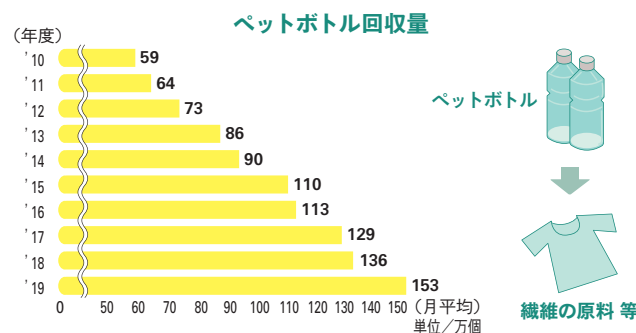
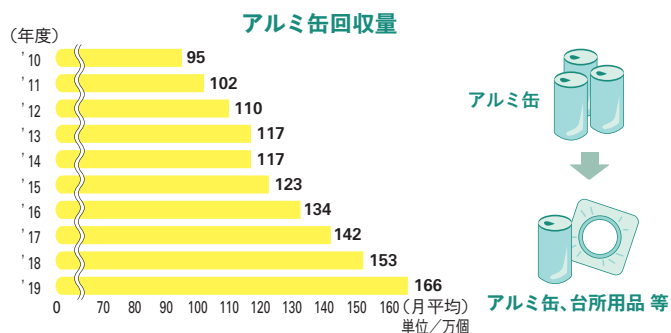
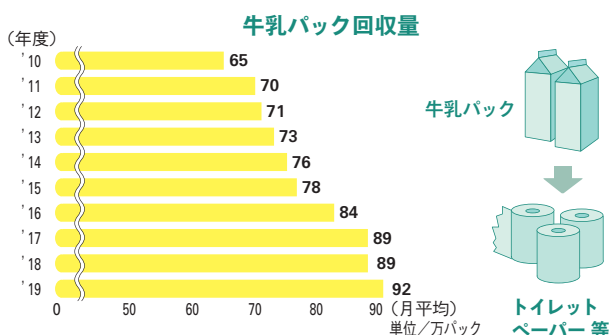
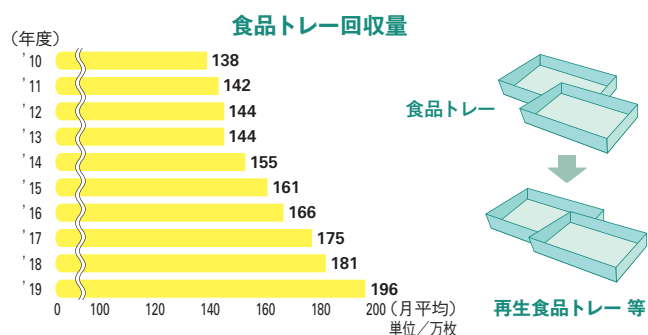


エコ包装

夏のギフト 75.4% 冬のギフト 77.1%



店頭での容器回収量



太陽光発電の余剰電力を買い取る「ゆめかプラン」

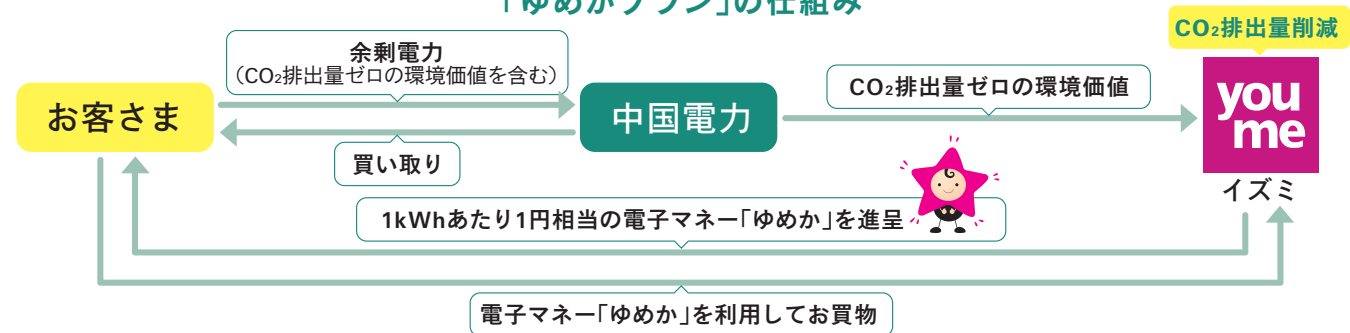
2019年11月から、イズミは中国電力と連携して新サービス「ゆめかプラン」を開始しました。ご家庭の太陽光発電による余剰電力を中国電力が買い取り（2019年度実績は税込7.15円/kWh）、さらにイズミから1kWhあたり1円相当の電子マネー「ゆめか」を進呈するサービスです。中国電力は、買い取った余剰電力に含まれるCO₂排出量ゼロの環境価値をイズミに提供。イズミは、店舗運営にかかるCO₂排出量を削減するため、この制度を活用します。

対象は、国による再生可能エネルギーの固定価格買取制度の適用期間（10年）が終了した世帯。実施エリアは、鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県および兵庫県・香川県・愛媛県の一部です。



住宅用ソーラーパネルによる発電（イメージ）

「ゆめかプラン」の仕組み



ルールを定めてCSRマネジメント

重点テーマを抽出し、グループ全体で遵守します。

社会的責任を果たすための基本方針

1) 将来への成長・飛躍をめざして、変化への対応・挑戦・スピードのある経営を推進・実践していきます。そのために、地域の生活文化の中心として、夢づくり・街づくりをテーマに企業活動を行い、店舗展開することを社会的責任を果たすための使命とし、地域のよさを最大限に生かしながら、地域一番店をめざします。

2) 企業活動では、コンプライアンス経営を基盤とし、お客さま・地域社会・株主のみなさま・お取引先様との信頼関係の構築に努めます。

3) 役員および社員は、地域への貢献を誇りとし、人間的成長につながるやりがいを生み出し、お客さまに喜んでいただけることを生きがいとして、地域のみなさまの声を店舗に反映していきます。

1 法令を遵守して業務を遂行

イズミグループでは、法令を遵守しながら日々の業務を行うよう、「行動憲章」を制定。コンプライアンス・リスク管理委員会を中心に、全社員で学習を進めています。

【イズミグループ行動憲章】

- 1 社会にとって有益かつ安全な商品とサービスを提供し、お客さまの信頼と満足確保します。
- 2 自由競争のもと、公正な取引に努めます。
- 3 顧客情報・内部情報が適切に管理される体制を構築します。
- 4 株主はもとより社会に対して、企業情報を積極的かつ公正に開示します。
- 5 自然(地球)環境に配慮した行動に努めます。
- 6 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、断固として対決します。
- 7 国際的な事業活動においては、国際ルールや現地の法律を遵守し、文化や習慣を尊重して、その地域の発展に貢献します。
- 8 創業の精神に則り、お互いを尊重し、謙譲の気持ちをもって行動します。
- 9 国内外の法律を遵守し、社内規則ならびに社内規範・企業倫理等のルールに従い、「人としてやってはいけないこと」を判断できる誠実な企業人をめざします。
- 10 経営トップは本憲章の精神を実現するため、社内外の声に耳を傾け、遵法文化形成のために社内体制の整備を行います。

2 個人情報保護を徹底

店舗などでお預かりしたお客さまの大切な個人情報を守るため、イズミグループの社員ならびにお取引先様と、共通の指針に沿って取り組んでいます。

【イズミのプライバシーポリシー】

- 1 弊社がお客さまからいただいた個人情報、ダイレクトメールなどの宣伝物の送付、商品・催事情報などのご案内、アフターサービスなどに利用させていただきます。
- 2 弊社は、個人情報の取り扱いに当たっては、漏えいなどがないように安全な管理に努めます。
- 3 弊社は、お客さまの個人情報を第三者に提供する場合は、お客さまから同意を得ます。ただし、法令などに基づく場合などの正当な理由がある場合は除きます。
- 4 弊社は、個人情報の取り扱いに関する業務を委託する場合は、委託先が個人情報の保護と安全管理を行うように監督に努めます。
- 5 弊社は、個人情報の取り扱いについては必要に応じて随時改善、変更を行うことがあります。
- 6 弊社は、お客さまから個人情報の開示、訂正等を求められたときは、合理的な範囲ですみやかに対応いたします。

3 エコ活動実践の指針

イズミでは、グループ社員全員で環境への取り組みを共有するため、環境理念・環境方針を定め、共に学び、共に業務の中で行動に移しています。

【環境理念】

イズミは、環境問題への取り組みが社会的責任を果たす最も基本的な活動と考え、地球市民として使命感に基づき、社員一人ひとりが自発的に行動し、環境保全活動の実践に努めます。さらに地域のみなさまと協力し、環境負荷の軽減と循環型社会の構築をめざしていきます。

【環境方針】

イズミは、企業理念である「お客さまの満足度No.1」を基本に、商品やサービスおよび店舗づくりを通じて環境保全への取り組みと、地域周辺の自然・環境との調和に努めます。また、環境保全活動を通じて、お客さまから信頼される企業をめざします。

- 1 環境に配慮した安全安心な商品・サービスの提供に取り組みます。
- 2 環境に配慮した店づくりをめざし、省資源・省エネルギーに取り組み、廃棄物排出の抑制、リサイクル活動に努めます。
- 3 再生素材を推進し、環境への負荷が少ないものの購入および使用を行い、資源の有効活用を努めます。
- 4 地域のみなさま・行政と協力し、環境保全活動を推進し、社会貢献に努めます。
- 5 社員一人ひとりが環境に配慮した取り組みの実践および継続的な改善に努め、環境に関連した法規制を遵守します。

IRコミュニケーションを強化

積極的な情報開示と双方向の対話を図ります。

イズミグループ業績概要



※2021年2月期の計画は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、適正・合理的な算定が困難なため、未定としています。(2020年5月現在)

◆株主優待制度による利益還元

イズミでは、利益成長に応じた配当金に加え、株主優待券やギフト券の贈呈を行っています。また長期保有特典制度も新たに導入しました。

ご所有株式数	一回当たりの贈呈額	
	株主優待券の場合	ギフト券の場合
100株以上	20枚 (2,000円相当)	500円
200株以上	30枚 (3,000円相当)	
300株以上	40枚 (4,000円相当)	
400株以上	50枚 (5,000円相当)	
500株以上	60枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	100枚 (10,000円相当)	2,000円
2,000株以上	200枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	300枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	400枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	500枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	600枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	800枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	1,000枚 (100,000円相当)	

■長期保有特典制度

ご所有株式数	自社商品券の場合	ギフト券の場合
300株以上	2,000円	500円
1,000株以上	4,000円	1,000円

■泉美術館ご招待券の贈呈

上記とは別に、泉美術館ご招待券を贈呈しています。

※「株主優待券」は、1,000円以上お買い上げにつき、1,000円ごとに各1枚(100円券)をご使用いただけます。「株主優待券」「自社商品券」の対象店舗はイズミ全店、ゆめマート熊本、ゆめマート北九州、ユアーズ、その他。
※「ギフト券」は全国でご利用いただけるものを贈呈いたします。
※長期保有特典制度では、現行制度で株主優待券をお選びの方には自社商品券、ギフト券をお選びの方にはギフト券を贈呈します。

◆IRコミュニケーションを推進

イズミでは専任部署としてIR課を置き、定期的に経営戦略や業績に関して株主・投資家のみなさまとの対話を実施しています。年2回アナリスト・機関投資家向けの決算説明会を実施している他、個人投資家向けには会社説明会を開催すると共に、証券会社が開催する個人投資家セミナーへ参加しています。また、海外投資家向けに証券会社の主催するコンファレンスに参加している他、英語による情報開示についても積極的に取り組んでいます。

■ホームページへの掲載情報

月次売上、決算資料、業績推移、株式情報、株主総会、IRカレンダー、決算公告、IRinformation (English)、ニュースリリース、株価情報

■IR情報に関するURL

<https://www.izumi.co.jp/corp/ir/>



マスコミ向け決算発表会の様子



日本語と英語でアナニュアルレポートを毎年発行

